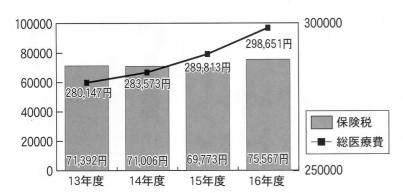
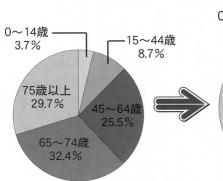
人当たりの総医療費と保険税の推移

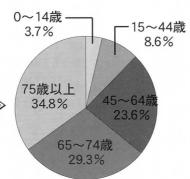


年齢別の医療費の割合

平成14年5月診療分

平成17年5月診療分





が全体の半分以上の人の医 上の人の医 療

費

年々医

療費が増える傾向に

あ

る

国保ガイド

医療費を大切に

ことを知っていますか。

めています。 上の人の医療費は全体の約2/3を占 医療費を年齢別に見てみると65歳以

加していることがわかります。 年度との比較でも高齢者の医療費が増 の1/3以上を占めています。 また、 75歳以上の人の医療費は全体 平 成 14

ります。

そうならないためにも、

国保税の引上げにもつなが

の増加は、

ちの医療費を有効に使いましょう。

険税の推移を表したものです。

医療費

2 9 8

651円(平成16年度)です。

左表は、

人当たりの総医療費と保

都留市の一

人当たりの医療費は

間

どんな病気が多いのでしょうか。

活習慣病が多くの割合を占め、 循環器系の疾患や悪性新生物などの生 つだけで医療費全体の約1

分類(具体的な病名)	割合
盾環器系の疾患(高血圧、脳卒中)	22.0%
新生物 (がん)	12.7%
青神及び行動の障害(統合失調症)	9.9%
尿路性器系の疾患 (腎臓の疾患)	8.3%
呼吸器系の疾患(ぜんそく、かぜ、気管支炎)	7.2%
筋骨格系及び結合組織の疾患(関節症、神経症)	7.1%
員 <mark>傷、中毒及びその他の外因の影響</mark> (骨折、やけど)	5.2%
内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、甲状腺疾患)	5.1%
肖化器系の疾患 (胃炎及び十二指腸炎)	4.9%
感染症及び寄生虫症 (ウイルス性肝炎、結核)	2.3%
支膚及び皮下組織の疾患 (皮膚炎、じんましん)	0.8%
その他	14.5%

禁煙しましょう

お酒は適量を心がけましょう

を解消する

趣味などで気分転換をし、

スト

・レス

生活習慣を改善しましょう。

とつにあげられます。 ることからはじめましょう。 することで予防できる疾病でもあるの 食生活を見直しましょう 生活習慣病は、 長期の治療を必要とすることが多 医療費増加の大きな要因のひ 今の生活習慣を見直してみ 完治することが難 生活習慣を改善

医療費の割合を疾病別に見てみると、

肉中心から野菜中心の献立に

け控える 腹八分目を心

しがけ、

間食はできるだ

ています。 疾病別に /3を占め こ の 2

伞	2見た医療費の割合
5月診療	П

活習慣病の予防につながります

運動を習慣づけましょう

適度な運動を毎日続けることは、

生

食塩は1日10

g未満を 目標に

に抑える

オーキングがおすすめです

休養をしっかりとりましょう

夜はできるだけ12時までに就寝する

いつでもどこでも手軽に取り組めるウ

運動時間をとるのが難しい人に

は

循環器系の疾患(高血圧、脳卒中)	22.0%
新生物(がん)	12.7%
精神及び行動の障害(統合失調症)	9.9%
尿路性器系の疾患(腎臓の疾患)	8.3%
呼吸器系の疾患(ぜんそく、かぜ、気管支炎)	7.2%
筋骨格系及び結合組織の疾患(関節症、神経症)	7.1%
損傷、中毒及びその他の外因の影響(骨折、やけど)	5.2%
内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、甲状腺疾患)	5.1%
消化器系の疾患(胃炎及び十二指腸炎)	4.9%
感染症及び寄生虫症 (ウイルス性肝炎、結核)	2.3%
皮膚及び皮下組織の疾患(皮膚炎、じんましん)	0.8%
その他	14.5%

医療費 めに をもっと有効的に 使うた

健康相談を行っておりますので、

健康推進課の保健

師

栄養士による

お気

軽にご相談ください

持ちましょう。 かかりつけ医

上か

か

り

つけ薬局

を

なるべくひとつ 0 医療機関で受診

ましょう。)時間外や休日の受診はなるべく避

食生活・運動・休養を見直して、 定期的に ましょう。 期発見・治療を心がけましょう。 健康診断を受け、 病気の早 生

問合先 市民生活課 国保医療担当

偏食せず、

バランスよく栄養をとる

活習慣病を予防しましょう。